

久しぶりのセミロングツーリング！

茂木 良一

今年の春は天候不順。毎年言われることだが地球温暖化で春が無くなっているように感じる。趣味の魚釣りも2回雨で流れた。



そんなときは、ソロツーリング。船釣りのように予約が要らないから、天気を見て出発できる。

5月26日、晴れると言うので行くことにした。

出発の朝、天気は曇っている。最高気温25度を超えると言っていたのに肌寒い。あわててメッシュジャケットからソフトシェルジャケットに着替えて8時45分に出発。

コース 関越道東松山インターIN→上信越道下仁田OUT→裏妙義～妙義山→横川→旧碓氷峠→軽井沢→中軽井沢→鬼押し出し→ハッ場ダム→我妻街道(上信越道)→渋川インターIN→東松山インターOUT

関越道、上信越道とも85キロ前後で一番左側車線を快調に走った。体は何ともなかつたが、手が冷たい。革の冬用にすればよかつたと後悔した。

妙義山の登りにかかると更に気温が下がってきて、上半身も寒くなる。カッパでも着ようかと思って、道の駅妙義でシートを開けるとカッパが入っていなかつた。そうか…釣りのバックの中か…

ホットの缶コーヒーで暖をとつた。

横川の峠の釜めし本店を過ぎると旧碓氷峠への道を選択できる。すぐに霧積への道の分岐がある。霧積は軽井沢が別荘地になる前に開かれた避暑地で、相次ぐ山崩れにより、今では旅館1軒があるだけだ。

森村誠一さんの『人間の証明』で「母さん、僕のあの帽子どうしたでしょうね?ええ、夏、碓氷から霧積へ行く道で渓谷へ落としたあの麦わら帽子ですよ…」というセリフが気になって、15年前に一人で走ったのだが、杉木立の林道で、途中の道も荒れていて、「熊注意!」の看板がやたらと多くて薄暗い。映画のロケーションとは雲泥の差の道だった。

閑話休題

旧碓氷峠は全部で184のカーブがある。昨年 WRC(世界ラリー選手権)のコースになったぐらいで、走るのが楽しい道である。昔は、大型バイクでエイ!エイ!と寝かせて飛ばしたが、今では軽いスクーターでヒヨイヒヨイと楽し~!!!と走った。

軽井沢でお昼ご飯にちょうどいい時間となったが、美味しい店を知らないので、通過。中軽の星野リゾートにある村民食堂に入ろうとしたら、待ち人までいて通過。結局、北軽のラーメン屋に入った。

何しろ寒くて、温かいものを体に入れたかった。その後、北軽井沢を抜けて、ハッ場ダムについた。数年前、退職者会の旅行で来た時より道の駅の施設が拡大しており、ダム湖も水を蓄えて綺麗だった。写真のように凄い色をしていた。草津や六合村あたりの温泉成分のせいかも知れないが、水の色だけで感動してしまった。





そこからは、ハッ場ダム建設の交換条件のような無料の上信越道で渋川に向かい快適なクルージング。所々、開通していないが、全て開通すると草津までノンストップ！ 時間半で行けると言う。まあ、それまで生きているかな…

確実にスクーターは降りているだろうと思う。

時間があったので、永井食堂に回ってお土産のモツ煮を買って帰宅した。

全行程300キロだった。まあ、これぐらいの疲労度なら、夏にビーナスラインに行けるかもしれないという希望を持たせてくれるツーリングだった。